



八尾・山田地域

八尾地域小・中学校の再編原案検討のポイント



再編原案選定の過程

- (1) 八尾地域の再編対象校は檜尾小である。
- (2) 八尾地域統合中学校が令和4年4月に開校する予定であり、中学校区が一つとなることから、檜尾小と八尾小もしくは杉原小との一次統合を検討した。
- (3) 隣接校との再編では長期的に小規模となることから、八尾地域4小学校を再編し、八尾地域統合中学校に小学校を併設することを検討した。

学級数・児童生徒数 (R3.5.1現在)

小学校名 (4校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
八尾	2	50	2	40	2	44	2	44	1	37	2	54	11	269
杉原	2	52	2	36	2	51	2	50	2	77	2	63	12	329
保内	1	27	1	29	2	38	1	27	1	17	1	32	7	170
檜尾	1	5	1	6	5	3	4	5	4	1	5	4	28	

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。

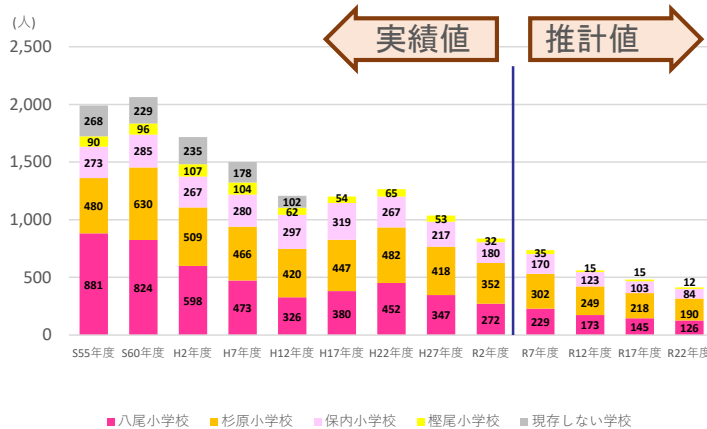
※檜尾小は3・4年生及び5・6年生で複式学級を編制。

中学校名 (2校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
八尾	3	101	3	90	3	94	9	285
杉原	2	60	2	49	2	60	6	169

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。

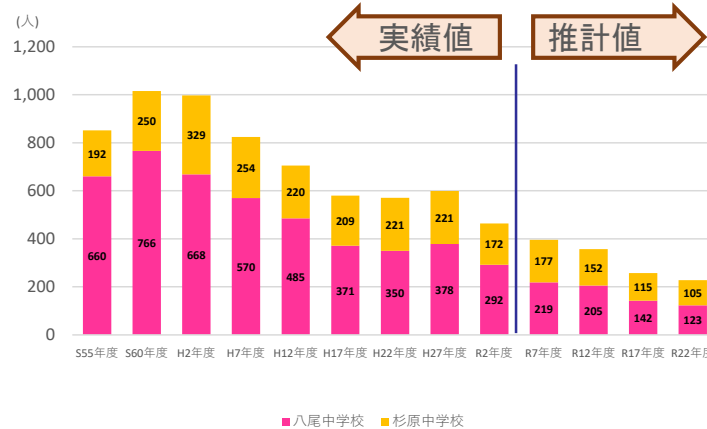
出典：富山市の教育（令和3年度）

小学校児童数推移

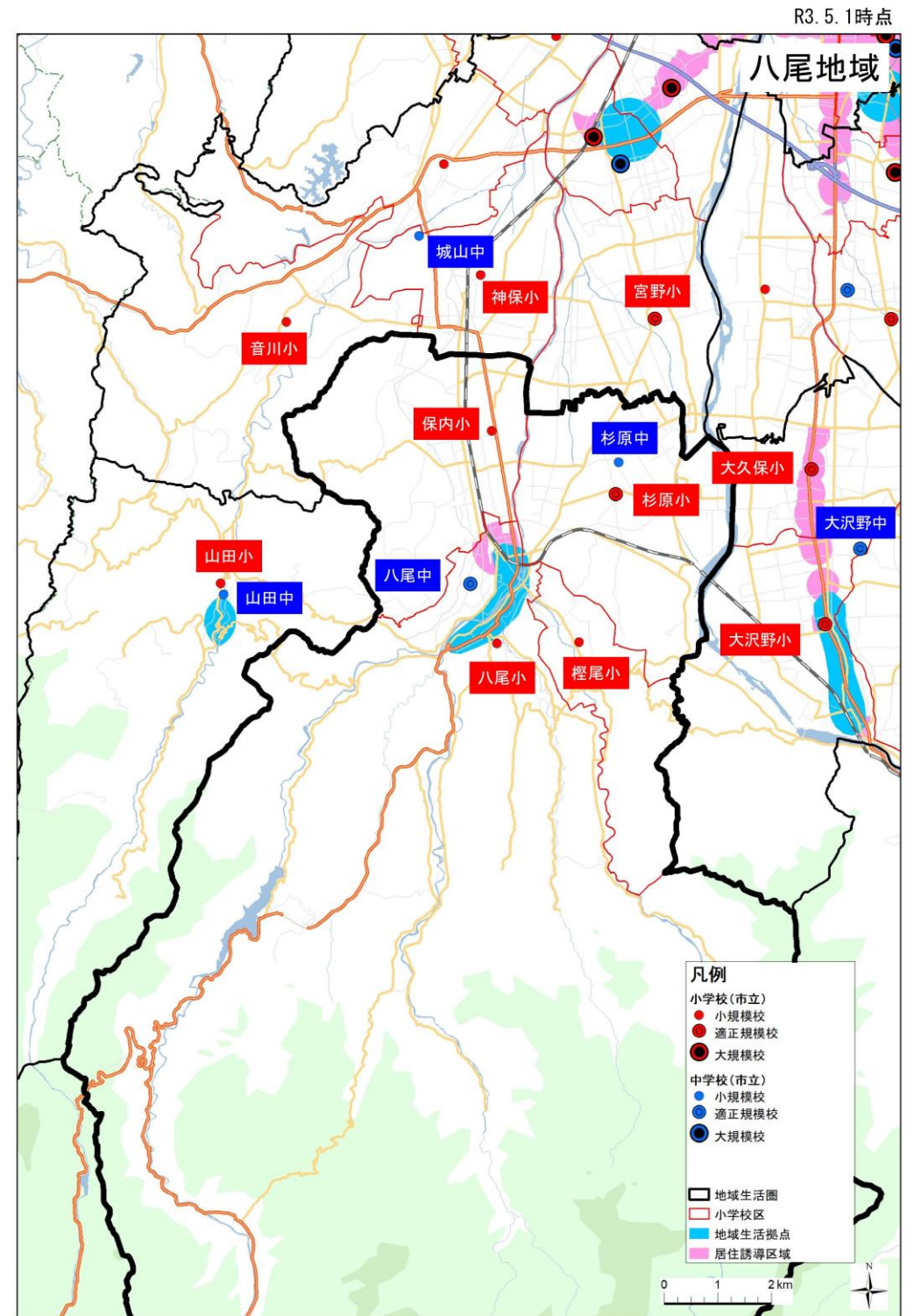


出典：各学校沿革史（昭和55年度～平成12年度）、富山市の教育（平成17年度～令和2年度）
令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

中学校生徒数推移



学校位置図



山田地域小・中学校の再編原案検討のポイント



再編原案選定の過程

- (1) 山田地域の再編対象校は山田小・山田中である。
- (2) 複式学級を解消するため一次統合を検討し、その後、八尾地域の各学校との最終統合を検討した。
- (3) 山田地域は再編先学校がないことから、隣接校が再編対象校ではない八尾地域との再編を検討した。

学級数・児童生徒数 (R3.5.1現在)

小学校名 (1校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
山田	1	12	4	9	1	9	1	11	1	10	1	9	5	55

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。

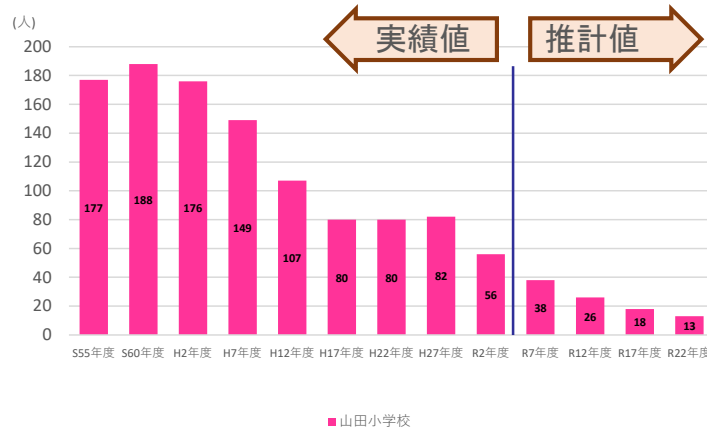
※山田小は2・3年生で複式学級を編制。

中学校名 (1校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
山田	1	13	1	9	1	12	3	34

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。

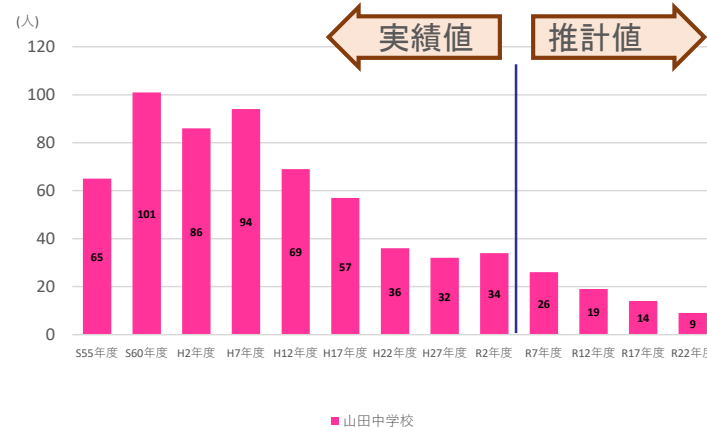
出典：富山市の教育（令和3年度）

小学校児童数推移

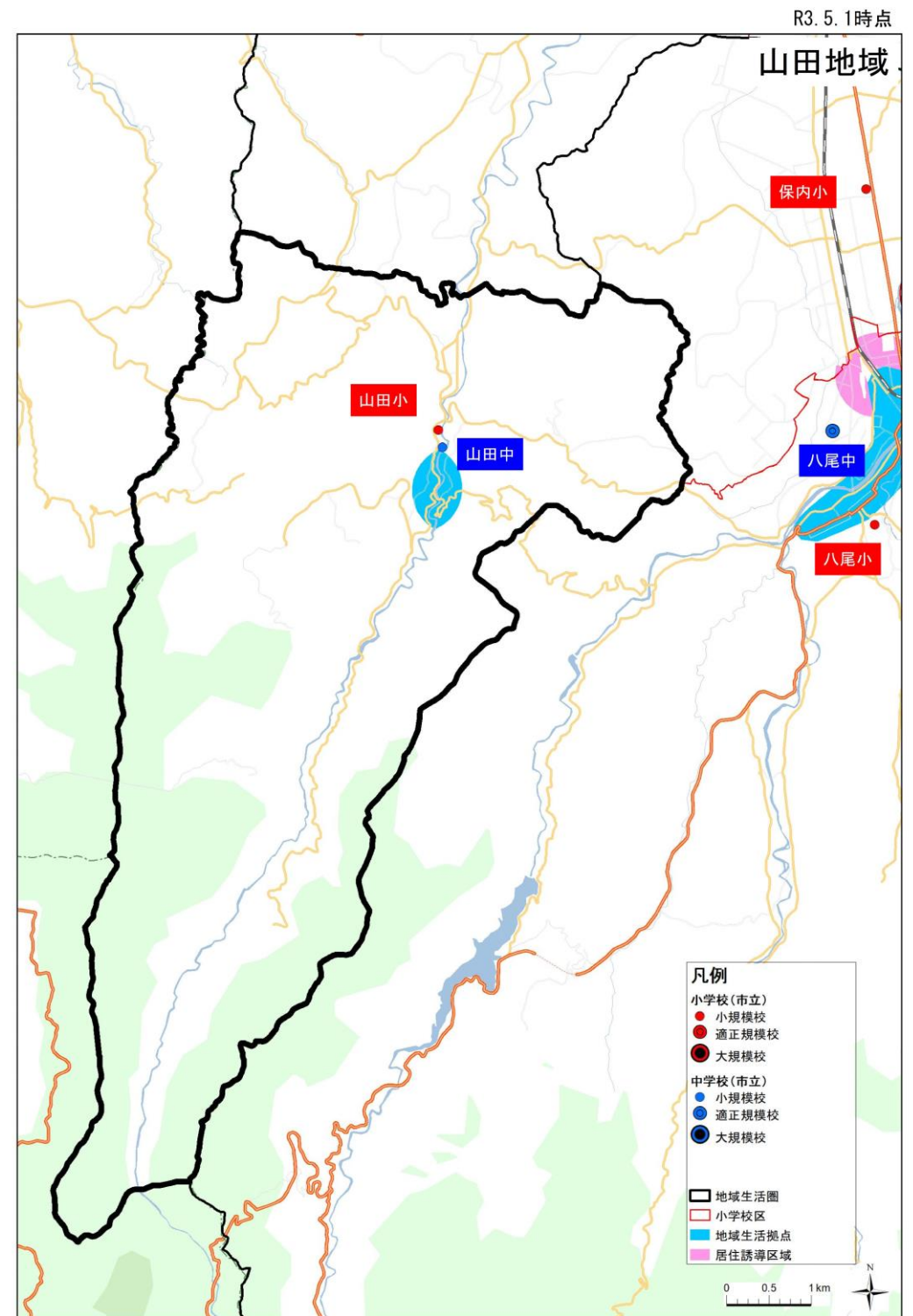


出典：各学校沿革史（昭和55年度～平成12年度）、富山市の教育（平成17年度～令和2年度）
令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

中学校生徒数推移



学校位置図



八尾・山田地域小・中学校再編原案リスト



《八尾地域内の学校》

小学校：八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、**樫尾小学校**
 中学校：八尾中学校、杉原中学校

《山田地域内の学校》

小学校：**山田小学校**
 中学校：**山田中学校**

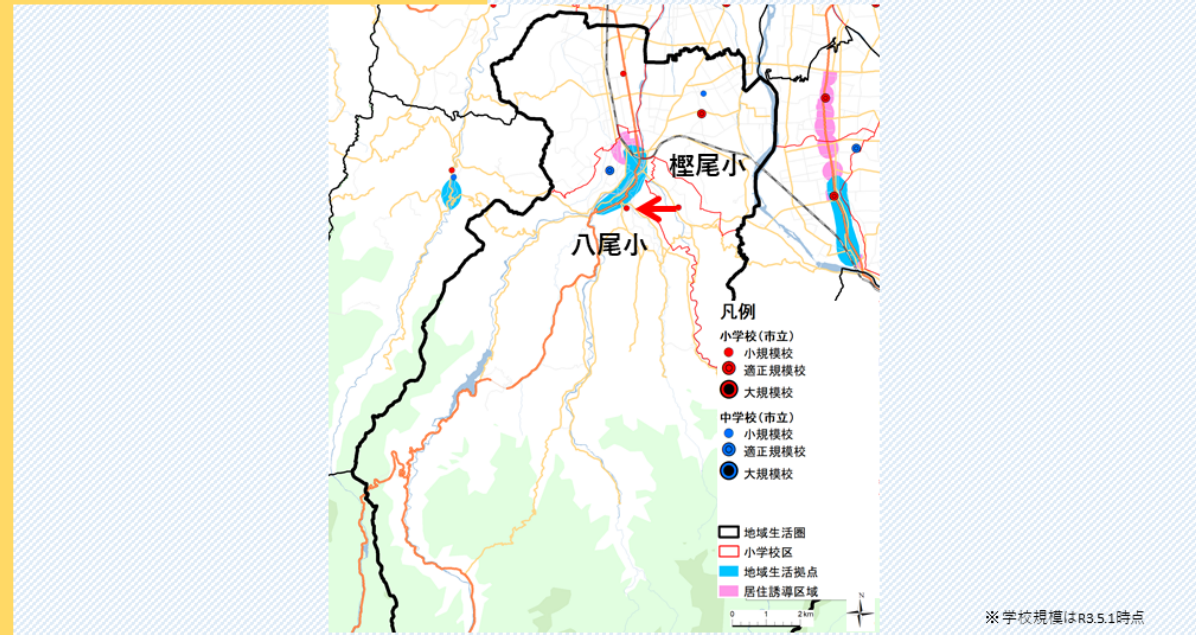
地域 生活圏	再編を検討する学校の組み合わせ				再編後の基本データ								再編原案	手法		
	再編対象校		再編対象校との組み合わせを 検討する学校	再編先学校	学校規模 (学級数)				再編先学校の教室充足状況						通学 距離	
	(複式学級がある学校)	(全学年単学級の学校)			R7	R12	R17	R22	R7	R12	R17	R22				R3
八尾	樫尾小学校		八尾小学校	現 八尾小学校	小 (11)	小 (7)	小 (6)	小 (6)	6	10	11	11	46%	13人	八尾-1(1)①	一次統合
	樫尾小学校		杉原小学校	現 杉原小学校	適正 (12)	小 (11)	小 (11)	小 (6)	5	6	6	11	93%	26人	八尾-1(1)②	一次統合
	樫尾小学校		八尾小学校、杉原小学校、 保内小学校	八尾地域統合中学校併設小学校	大 (24)	大 (19)	適正 (18)	適正 (13)	-	-	-	-	33%	254人	八尾-1(2)	最終統合
八尾・ 山田	樫尾小学校、山田小学校		八尾小学校	現 八尾小学校	小 (11)	小 (7)	小 (6)	小 (6)	6	10	11	11	82%	68人	八尾・山田-1(1)	一次統合
	樫尾小学校、山田小学校		八尾小学校、杉原小学校、 保内小学校	八尾地域統合中学校併設小学校	大 (25)	大 (19)	適正 (18)	適正 (14)	-	-	-	-	37%	309人	八尾・山田-1(2)	最終統合
		山田中学校	八尾地域統合中学校	八尾地域統合中学校	適正 (12)	適正 (11)	適正 (9)	小 (6)	4	5	7	10	100%	33人	八尾・山田-2	統合

再編を検討する学校の概況



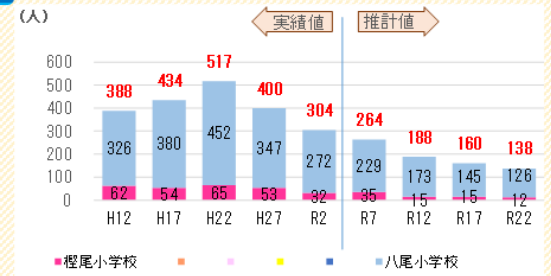
※()内は進学先中学校
 ※()内は学校規模
 ※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4.(1)、(3)及び(4)に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

該当する地域生活圏及び小学校区



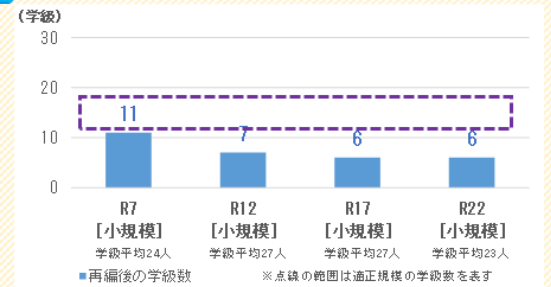
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



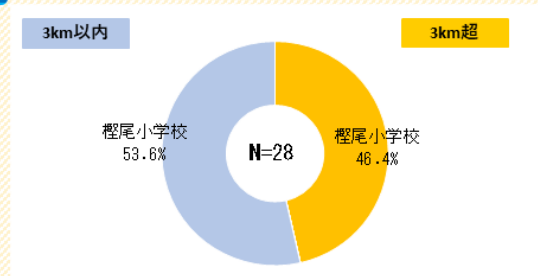
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



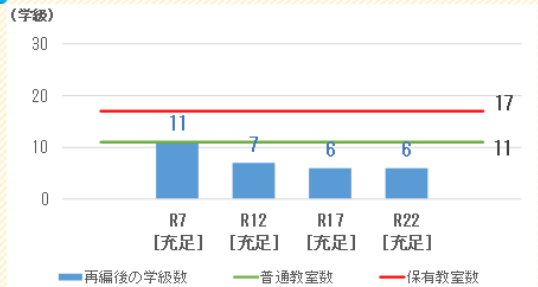
適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の通学距離



※再編を検討する学校(再編先学校を除く)に現在通学している児童生徒について住民基本台帳(令和3年8月時点)に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホト変換率法に基づく推計児童生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数29年)	-	B	B	B	B	B
体育館 (建築年数27年)	-	D	B	B	B	B

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化(安全上、機能上、問題なし)
 C：広範囲に老朽化(安全上、機能上、不具合発生の見込み)
 D：早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)
 ※富山市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 (洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所)
 ※富山市避難所一覧(令和3年5月24日更新)

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても小規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】一部老朽化が進んでいる。
- 【周辺状況】地域生活拠点(立地適正化計画)付近に位置する。
農地法第5条第4の規定に基づく協議書が必要となる可能性がある。
- 【その他】最終的には八尾地域統合中学校への集約を検討する。

再編を検討する学校の概況

再編を検討する学校の概況

再編を検討する組み合わせ

再編対象校

- 櫻尾小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：28人
学級数：4学級(小規模校(複式学級を含む))



再編対象校との組み合わせを検討する学校

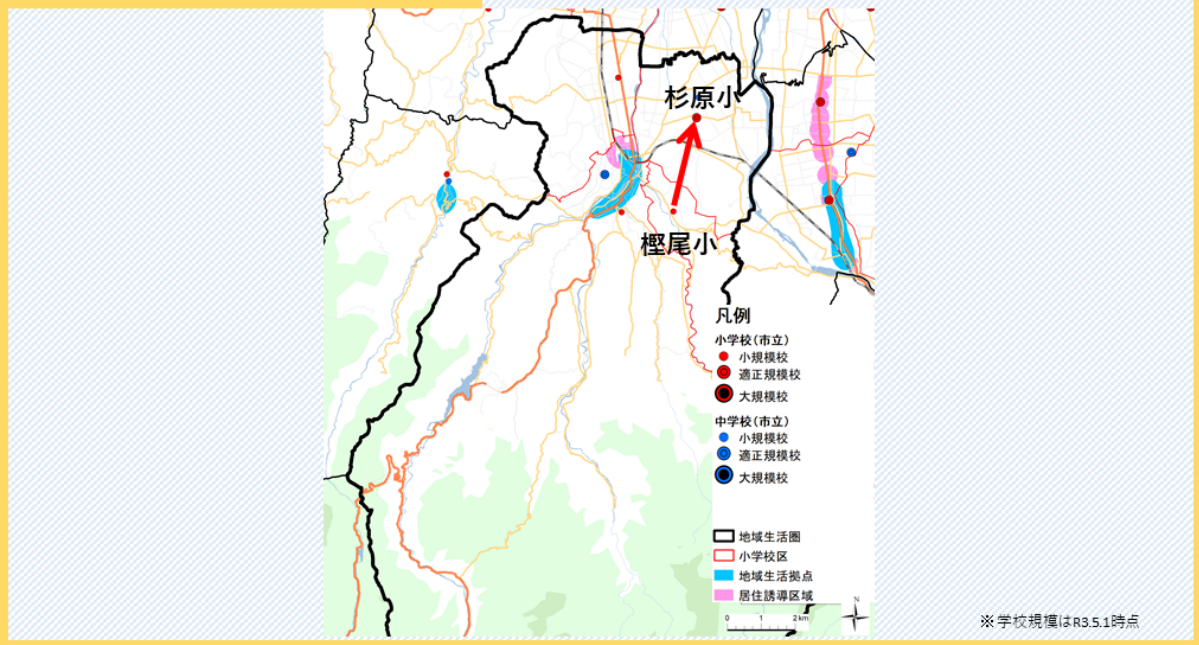
- 杉原小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：329人
学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

現 杉原小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】

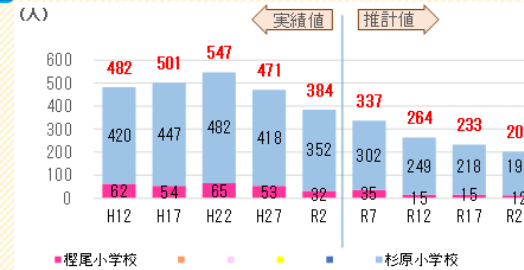
※()内は進学先中学校
 ※()内は学校規模
 ※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4.(1)。(3)及び(4)に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

該当する地域生活圏及び小学校区



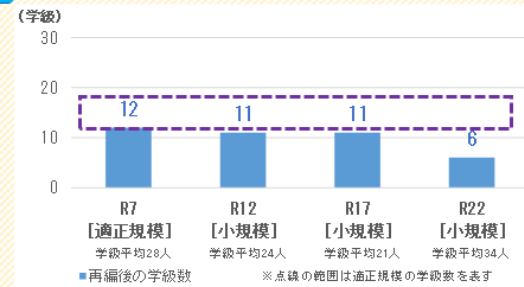
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



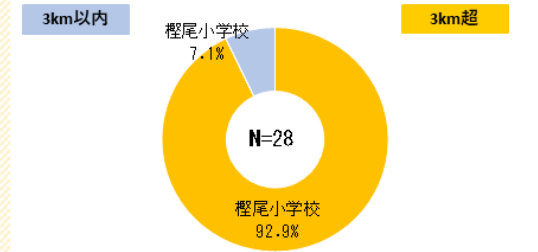
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



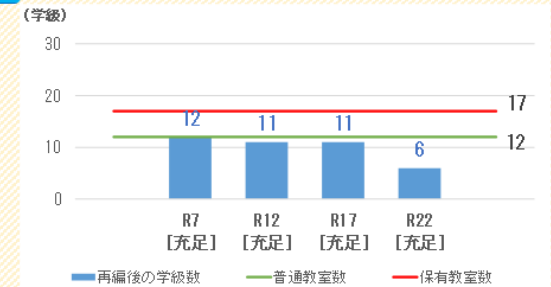
適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の通学距離



※再編を検討する学校(再編先学校を除く)に現在通学している児童生徒について住民基本台帳(令和3年8月時点)に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホト変換率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1 (建築年数25年)	-	C	B	C	B	B
校舎2 (建築年数14年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数22年)	-	B	B	B	B	B

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化(安全上、機能上、問題なし)
 C：広範囲に老朽化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
 D：早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)
 ※富山市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 (洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所)

※富山市避難所一覧(令和3年5月24日更新)

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7年は適正規模校となるが、その後令和12、17、22年は小規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】一部老朽化が進んでいる。
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域(立地適正化計画)外に位置する。農用地区域からの除外が必要となる可能性がある。

再編を検討する学校の概況

再編を検討する学校の概況

再編を検討する組み合わせ

再編対象校

- 櫻尾小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：28人
学級数：4学級(小規模校(複式学級を含む))



再編対象校との組み合わせを検討する学校

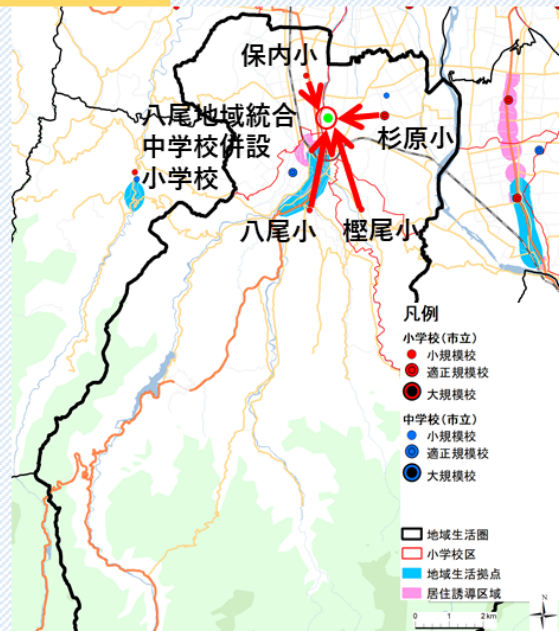
- 八尾小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：269人
学級数：11学級(小規模校)
- 保内小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：170人
学級数：7学級(小規模校)
- 杉原小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】
児童生徒数：329人
学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

八尾地域統合中学校併設小学校【八尾地域統合中】

※()内は進学先中学校
※()内は学校規模
※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4.(1)。(3)及び(4)に基づく
※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

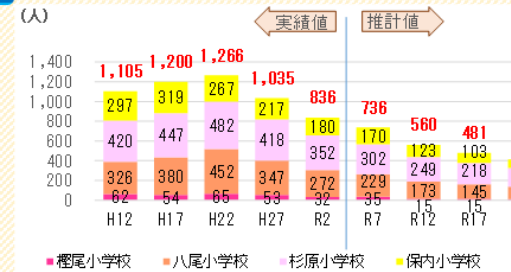
該当する地域生活圏及び小学校区



※学校規模はR3.5.1時点

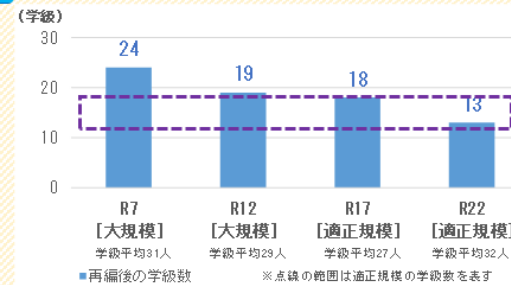
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



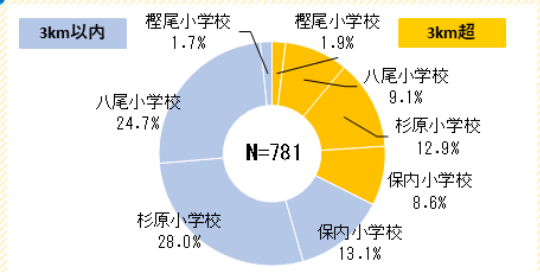
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
※赤字は児童生徒数の合計
※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



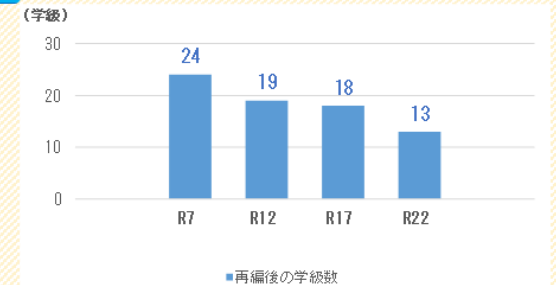
適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
大規模：学級数が19学級以上
小規模：学級数が11学級以下
※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の通学距離



※再編を検討する学校（再編先学校を除く）に現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
※コーホト変換率法に基づく推計児童生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

A：概ね良好
B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



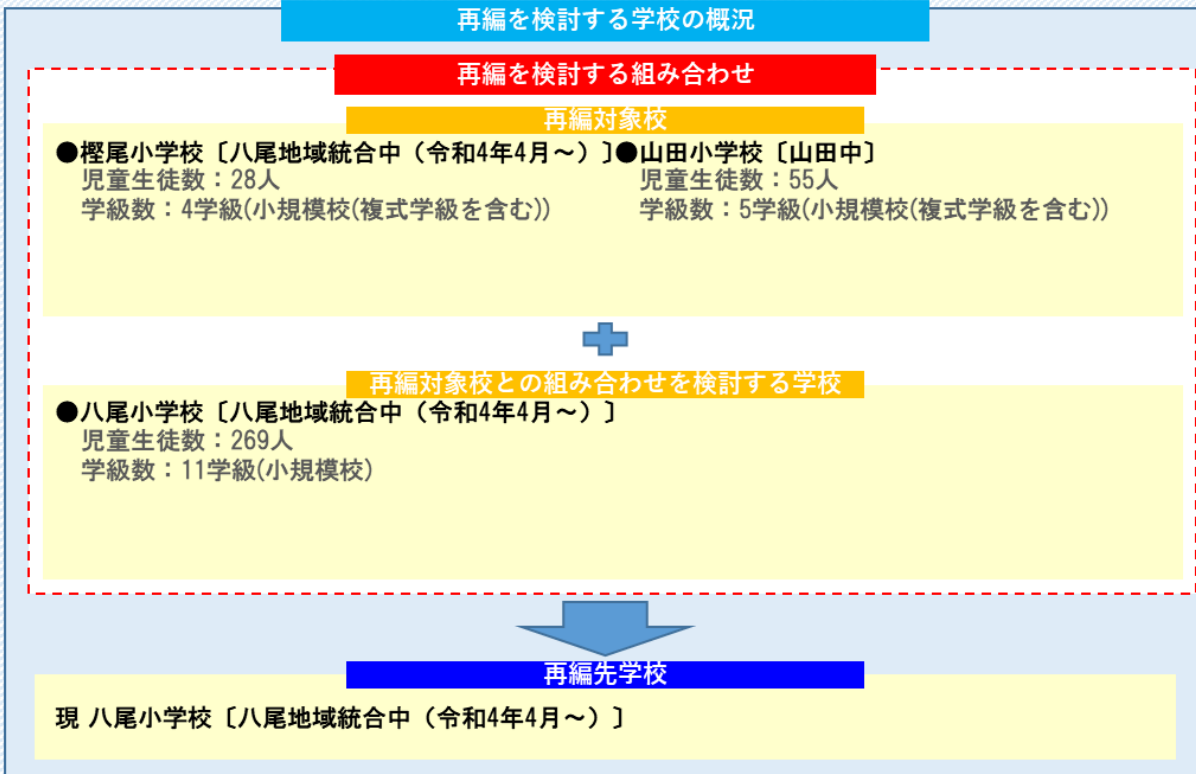
再編先学校の指定避難所区分

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12年は大規模校となるが、その後令和17、22年は適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数が充足するよう小学校棟の増築が必要となる。
- 【施設健全度】-
- 【周辺状況】地域生活拠点（立地適正化計画）付近に位置する。農用地域からの除外が必要となる可能性がある。
- 【その他】八尾地域統合中学校は令和4年4月に開校予定である。

再編を検討する学校の概況



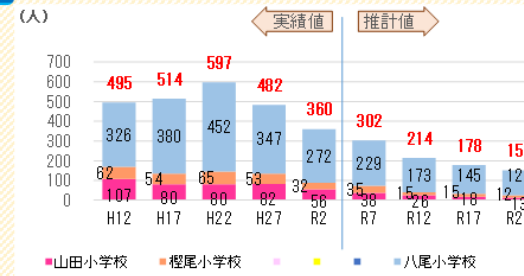
※〔 〕内は進学先中学校
 ※〔 〕内は学校規模
 ※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

該当する地域生活圏及び小学校区



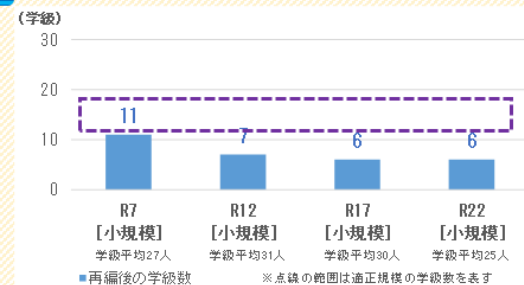
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模（学級数）



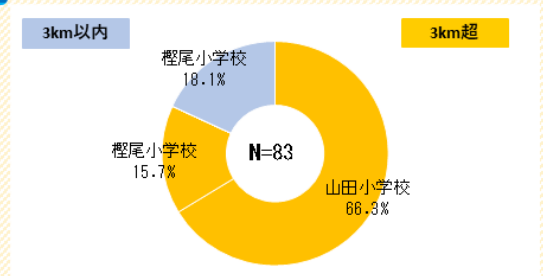
適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数29年)	-	B	B	B	B	B
体育館 (建築年数27年)	-	D	B	B	B	B

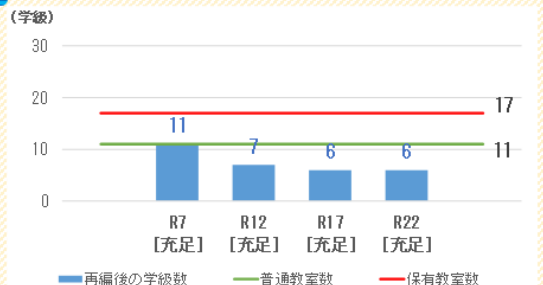
A：概ね良好
 B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編後の通学距離



※再編を検討する学校（再編先学校を除く）に現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホト変換率法に基づく推計児童生徒数により学級数を算出

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 （洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所）
 ※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても小規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】一部老朽化が進んでいる。
- 【周辺状況】地域生活拠点（立地適正化計画）付近に位置する。
- 【その他】最終的には八尾地域統合中学校への集約を検討する。

再編を検討する学校の概況

再編を検討する学校の概況

再編を検討する組み合わせ

再編対象校

- 櫻尾小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】 児童生徒数：28人 学級数：4学級(小規模校(複式学級を含む))
- 山田小学校【山田中】 児童生徒数：55人 学級数：5学級(小規模校(複式学級を含む))

再編対象校との組み合わせを検討する学校

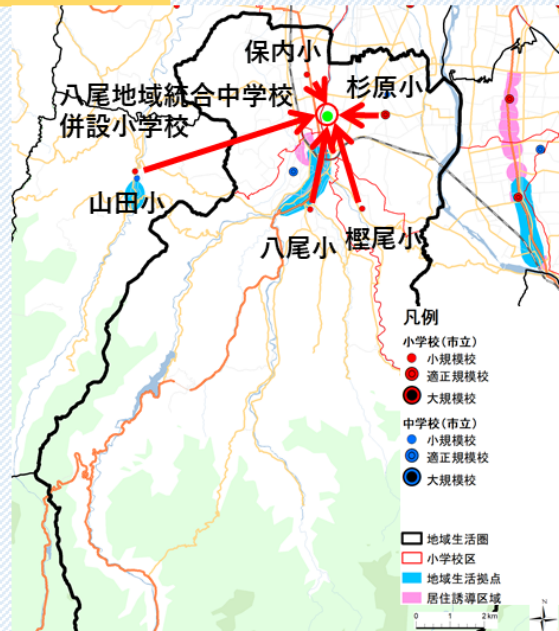
- 八尾小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】 児童生徒数：269人 学級数：11学級(小規模校)
- 保内小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】 児童生徒数：170人 学級数：7学級(小規模校)
- 杉原小学校【八尾地域統合中（令和4年4月～）】 児童生徒数：329人 学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

八尾地域統合中学校併設小学校【八尾地域統合中】

※()内は進学先中学校
 ※()内は学校規模
 ※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4.(1)。(3)及び(4)に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

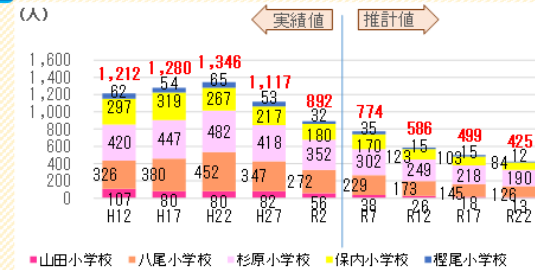
該当する地域生活圏及び小学校区



※学校規模はR3.5.1時点

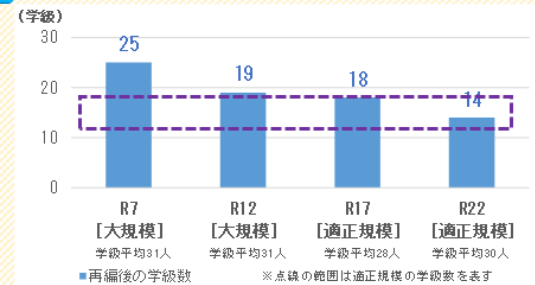
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



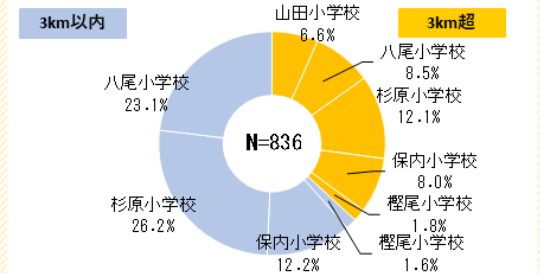
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



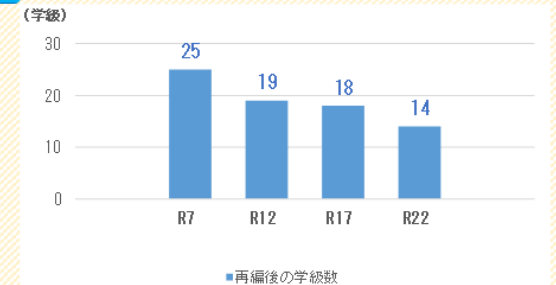
適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の通学距離



※再編を検討する学校（再編先学校を除く）に現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホト変換率法に基づく推計児童生徒数より学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

-

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

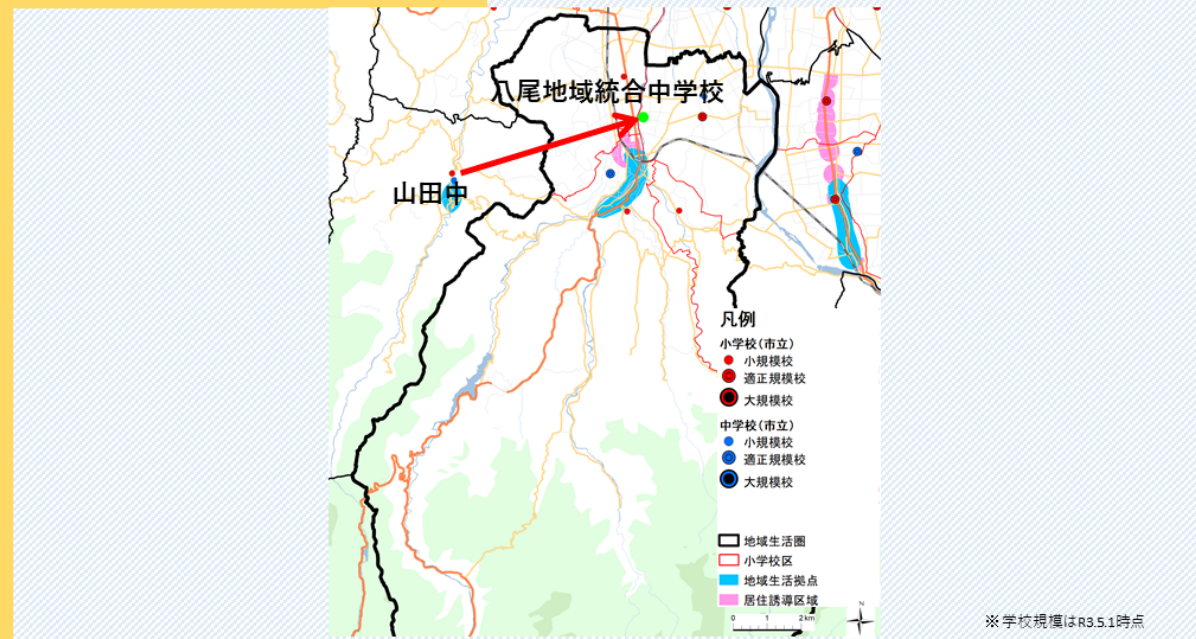
- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12年は大規模校となるが、その後令和17、22年は適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数が充足するよう小学校棟の増築が必要となる。
- 【施設健全度】-
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。
- 【その他】八尾地域統合中学校は令和4年4月に開校予定である。

再編を検討する学校の概況



※〔 〕内は進学先中学校
 ※〔 〕内は学校規模
 ※再編を検討する組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4.(1)。(3)及び(4)に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

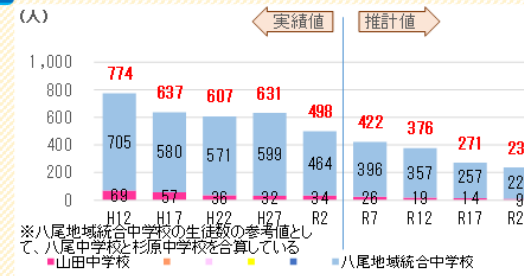
該当する地域生活圏及び小学校区



※学校規模はR3.5.1時点

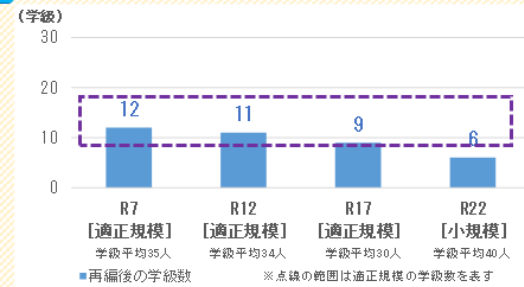
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホト変換率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



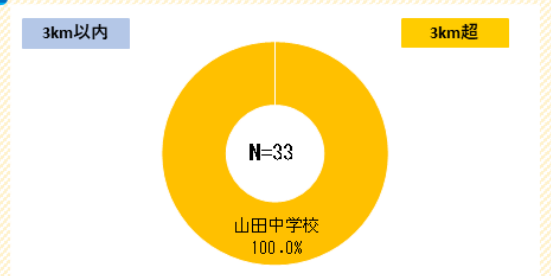
適正規模：学級数が9学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が8学級以下
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・塵上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						

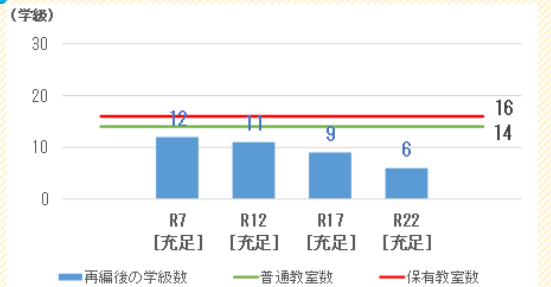
A: 概ね良好
 B: 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C: 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D: 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編後の通学距離



※再編を検討する学校（再編先学校を除く）に現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホト変換率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17年は適正規模校となるが、その後令和22年は小規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】-
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。
- 【その他】八尾地域統合中学校は令和4年4月に開校予定である。